

# POST お便りBOX

皆さんからいただいたお便りを紹介します。  
今後の広報誌づくりの参考にさせていただきます。  
※今回の読者プレゼントはお休みします。いただいたハガキは次回の抽選で反映させていただきます。

◆きれいな紙面構成でどのページにも熟意を感じます。中でも「未来に向かつて」は力作。しかし、市政の守りのイメージが気になります。市の外の人、外のアイデアを取りこむような意欲がほしいところです。先月号のお便りBOXのスカイタイムさんの意見に同感です。市内の宿泊施設の朝ごはんだけ食べてみたいですね。いいアイデアだと思いました。



K・Kさん(上横林)70代女性

◆表紙はいつもチェックしています。広報の顔であり、市の文化、広報スタッフのやる気も感じます。全国に多数ある市町村を読み比べて学び、広報紙を読みたいの思いが伝わるような表紙にしてほしいです。那須塩原市を市民がしっかりと自覚できるような表紙を望みます。広報なすしおばらが小さく、横文字が大きいのに疑問を感じています。私は旅に出かけると、他県の広報表紙を見ますので、そこに文化も感じます。

モンスターさん(鍋掛)70代女性

◆高齢者で活躍している方にスポットを当てた特集や、小学校・中学校・幼稚園(子ども園)などの紹介をしてほしいです。



K・Kさん(塩原)60代女性

◆誌面の色づかいがとても読みやすく、50歳半ばの私にもメカネなく読むことができるので、楽しくページをめぐることができます。ごちゃごちゃしていないところも良いところです。

K・Sさん(二区町)50代女性



◆毎号回覧で回ってくるのを見えています。私たちが住んでいるこの那須塩原の情報を知ることができるので、とても活用させていただきます。私はボランティアが趣味なので、ぜひ市役所が主催するボランティアのイベントを行ってほしいです！私もその際は協力したいと思っています。

ゆうすけ(豊浦)10代男性



黒磯に40年暮らしておりますがこんなに素晴らしいところに住んでいることをしみじみと感謝しております。また、同じ号に掲載されていた予算に関する記事で、誰しもが安心して暮らせるまちづくりを進めるといのがとてもよかったです。

O・Sさん(清住町)70代女性



◆4月5日号のように温泉施設の特集をみると入ってみたいと

◆自治会について取り上げてほしいです。3年前に県外から引っ越してきてすぐに自治会へ加入しましたが、活動内容や自治会費の使い道などが不透明な部分もあるように感じています。行政とは直接関係がないことかもしれませんが、ぜひ広報で取り上げて欲しいです。



ポンぬま(太夫塚)30代女性

◆4月5日号に紹介されていた温泉！最高ですね。明賀屋本館、幸乃湯温泉、どれも入りたくなるような素敵な写真です。できれば、日帰り入浴ができるのかわかれればもっと最高！金額もわかればさらに最高です！

S・Kさん(鍋掛)50代男性



◆この前、他県より転入し、初めて栃木県民、那須塩原市民となりました。この広報誌も今号で数冊目ですが、盛りだくさんの内容と美しい誌面に驚かされました。4月5日号の特集「まちの光を観る」は表紙をめくってまず目に入ってきたカラー写

真がとてもきれいで何度も見返しています。温泉の紹介文も興味深く読ませていただきました。



S・Mさん(二区町)60代女性

◆塩原に住んでいた祖母が半身帯となつてしまいました。しっかりしていますが軽い認知症もあり、1人で暮らすのは難しい為、介護施設を探していますが、塩原を離れるのは嫌なようです。特集で那須塩原市の高齢者施設などを取りあげてもらえると、ネット環境に疎い世代の人達に喜ばれると思います。介護保険制度なども取りあげてくれるとありがたいです。

ハナコさん(下田野)40代女性



◆5日号と20日号で内容のバランスが取れていてよいと思います。(イベント中心と市内取材内容など)また、旅行会社から掲載料をとって、日帰りバスツアーなどの旬な旅行情報を載せてみてはいかがでしょうか…?

K・Hさん(戸田)70代女性

思うのですが、私は昨年大腸がんの手術を受け、ストマをつけています。そのため、入浴をためらってしまいます。施設側の配慮があるとありがたいので広報で取り上げてください。



とべないトリ(東三島)60代男性

◆4月5日号の市の予算を家計簿に例えるのを読みました。身近なものに例えられていて、とても分かりやすかったです。



S・Hさん(青木)70代女性

その他にも、たくさんのお便りをいただきました。ありがとうございました。



◆空き家を活用し、街を活性化する案を募ってみてはいかがでしょう？ 例えば、昭和の建築の空き家、店を町の一角に集め、昭和風の街並みを再現してみる。空き家を利用し、子どもたちの支援または勉強する場にする。和風家屋を利用し、踊りや着付けなど日本文化に触れる交流の場にするなどすれば賑わいが戻るのではないのでしょうか。



ミノ(鍋掛)50代女性

◆4月5日号は素晴らしい特集で感動しております。私はこ



スマートフォンなどからの応募はこちら

## Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)

1. 表紙
2. 特集
3. 行政 info
4. タウントピックス
5. 子育て連絡帳
6. チャイルドトピックス
7. 健康だより
8. 図書館へ行こう！
9. お便りBOX
10. なすしおばら珍百景
11. ちっちゃな自然
12. 編集後記
13. げんきびと
14. ものづくり若人
15. 私のまちの近い遺産

## 広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

※いただいたご意見は、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。  
※紙面の都合上、掲載できない場合がありますのであらかじめご了承ください。